

1 巻頭エッセイ パワーの奪い合いを超えよう

野田直人

## 特集 エンパワーメント再考

- |    |  |        |
|----|--|--------|
| 2  | ●特集にあたって—エンパワーメントをめぐる論点                                  | 佐藤 寛   |
| 4  | ●開発援助とエンパワーメント論の系譜                                       | 太田美帆   |
| 10 | ●当事者が定義するエンパワーメントへ向けて—東ティモール・コミュニティ・エンパワーメントプロジェクトを事例として | 蜂須賀真由美 |
| 14 | ●カンボジアの農民が動き出した—農村開発プロジェクトをととした農民のエンパワーメントの事例から          | 功能聡子   |
| 18 | ●ネパール集落コミュニティのエンパワーメント—金融組織の変遷を手がかりに                     | 辰己佳寿子  |
| 22 | ●ドミニカ共和国カニタス地区の事例—「指示棒」はどこにあったのか？                        | 桃井拓真   |
| 26 | ●インド農村女性のエンパワーメント—女性酪農協同組合の事例から                          | 秋吉 恵   |
| 30 | ●農村女性のエンパワーメントとエンパワーメント評価—南米パラグアイにおける生活改善プロジェクトの事例から考える  | 藤掛洋子   |
| 34 | ●開発援助における「社会的準備」とエンパワーメント                                | 池野雅文   |
| 38 | ●何が起これると「エンパワーメント」は達成されるのか                               | 佐藤 寛   |

40 トrend・リポート 香港行政長官の交代劇—「高度の自治」と民主のゆくえ 倉田 徹

44 分析リポート 米国による経済制裁発動後のミャンマー縫製産業 工藤年博

52 フォト・エッセイ 「小チベット」ラダックへの冬の旅 船尾 修

56 カルチャー・ショック

外国人のみた日本 「タダ」より高い物はない

孟 渤

日本人のみた外国 通訳を探して

山田七絵

58 ブックシェルフ

新刊紹介／石田正美編『インドネシア 再生への挑戦』

石田正美

レファレンスコーナー／貿易実務関連資料

横瀬美保

60 アジア各国・地域 経済統計

図書館資料サービス課

64 研究所だより

◆表紙写真：アンジュナビーチ（インド・ゴア）の果物売り（写真提供：世界文化フォト、撮影：安部光雄）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

## アジア経済研究所の刊行物のご案内

### アジア動向年報

- アジア動向年報 2005 6,615 円  
\*1970年創刊、定評ある年報!

### アジアを見る眼

- No. 108 本村眞澄著『石油大国ロシアの復活』 1,470 円  
\*サウジアラビアと並ぶ産油国ロシアの石油について、その特質を分析し、今後の方向を展望

### その他

—開発途上国研究に役立つ参考資料など—

- 小島道一編『アジアにおける循環資源貿易』 \*適正な国際リサイクルにむけて 1,995 円
- 石田正美編『インドネシア再生への挑戦』 \*ユドヨノ新政権の展望と課題 3,675 円

### アジア経済 第46巻第8号 発売中 1,050 円

- 論文 1870～90年代北満洲における辺境貿易と漢民族の移住……………荒武達朗
- 研究ノート 都市就業機会、適性・能力に対する学習と若年労働者の移動  
—バンコク労働市場についての実証— ……………木村雄一  
シリアにおけるクルド問題—差別・抑圧の“制度化”— ……………青山弘之
- 現地報告 GDN 第6回開発世界会議  
—先進国と開発途上国の相互の高め合い— ……………原島 梓
- 書評 大塚啓二郎・黒崎卓編著『教育と経済発展  
—途上国における貧困削減に向けて—』 ……………伊藤成朗  
Valerie M. Hudson and Andrea M. den Boer, *Bare Branches: Security Implications of Asia's Surplus Male Population* ……………早瀬保子  
Ronald McKinnon, *Exchange Rates under the East Asian Dollar Standard: Living with Conflicted Virtue* ……………熊倉正修  
Selig S. Harrison, *Korea Endgame: A Strategy for Reunification and U.S. Disengagement* ……………倉田秀也  
Steven Levitsky, *Transforming Labor-Based Parties in Latin America: Argentine Peronism in Comparative Perspective*……………松下 洋
- 紹介 石川義孝編『アジア太平洋地域の人口移動』 ……………早瀬保子  
徐勝編『東アジアの冷戦と国家テロリズム  
—米日中心の地域秩序の廃絶をめざして—』 ……………窪田朋子

\*上記価格は消費税込価格です。

\*ご購入・お問い合わせは、研究支援部成果普及課（出版物販売＝Tel: 043-299-9735 Fax: 043-299-9736 e-mail: syuppan@ide.go.jp）まで。

# —研究所だより—



## ▼出版物のご案内

### ●研究双書

\* No. 542 山田俊一編 『エジプトの開発戦略とFTA政策』三、三六〇円(税込)

\* No. 543 平野克己編 『アフリカ経済実証分析』四、一〇〇円(税込)

●『現代の中東』No. 39 七三三円(税込)

\* 問合せ・申込先 Ⅱ 研究支援部 果普及課 (販売担当直通)

TEL: 043-299-9735  
FAX: 043-299-9736

\* 研究所出版物は図書館1階のブックストアでもお求めになれます。  
どつぞつご利用下さい。

(営業日時月・水・金及び第1・第3土曜日10:00~17:00 図書館休)

アジア経済研究所図書館主催 2005年度途上国理解市民フォーラム

## もっと知りたい途上国

—研究者が語るくらしとたべもの—

現地経験豊富なアジア研究者が、開発途上国の人々の生活を身近に感じていただけるようわかりやすく講演いたします。参加費は無料です。皆様お気軽にご参加ください。

第1回	9月15日(木) 14:00~15:30	二村 泰弘	新領域研究センター 貧困削減・社会開発研究グループ 研究グループ長
フィリピンの飲み物	フィリピンの飲み物事情を語る時、ビールとコーラ抜きには考えられません。庶民生活にも深く関わる食品・飲料の消費は経済の動向をも左右すると言われていいます。ビールを通してみたフィリピン社会の一面をご紹介します。		
第2回	10月27日(木) 14:00~15:30	荒井 悦代	地域研究センター 南アジア研究グループ 研究員
スリランカの紅茶	スリランカ(セイロン)は紅茶の産地として有名で、人々は起きてすぐ、10時、お昼ご飯の後、3時、夕食の前後も多い人は1日5回ぐらい、砂糖のたっぷり入ったミルクティーを飲みます。まさに紅茶はスリランカ人の生活の一部となっています。本講座では紅茶を通してスリランカの生活についてお話しします。		
第3回	11月10日(木) 14:00~15:30	清水 達也	地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ 研究員
ペルーの飲み物 インコーラと ピスコ	ペルーを代表する飲み物がインコーラとピスコ。黄色くてトロピカル・フルーツの味がするインコーラは、コココーラやペプシコーラよりも人気があり、ペルー国民の味といわれる炭酸飲料です。一方、ブドウの蒸留酒であるピスコは、ペルーが新大陸におけるワインの主要生産地だった17世紀に生産が始まった歴史のある飲み物です。これらペルー独特の飲み物とそれに関わる産業の話などを紹介します。		
第4回	12月1日(木) 14:00~15:30	岩 葉子	地域研究センター 中東研究グループ 研究員
イランの飲み物	イラン人は無類の紅茶好き。どの職場にもお茶くみのおじさんがいて、大きなサモワールにお茶を沸かしています。どろりとしたトルコ・コーヒーも好まれますが、これは飲むというより別の目的が…。イラン人の憩いの場に欠かせない様々な飲み物をご紹介します。		

★講演終了後、ご希望の方にはアジア研図書館見学ツアーを実施いたします。関係資料の展示を行っておりますので、どうぞご参加ください。  
会場：独立行政法人 日本貿易振興機構 アジア経済研究所C21会議室 (千葉市美浜区若葉3-2-2)

定員：各回40名

★お申込み方法

参加ご希望の方は、

①「途上国理解市民フォーラム」参加希望回(複数可)

②氏名

③連絡先(住所、TEL、FAX)を下記宛にご連絡ください。

アジア経済研究所図書館 資料サービス課

TEL: 043-299-9716/FAX: 043-299-9734

Email: LID@ide.go.jp

館日は休業)

## ▼最近の主な海外来訪者

\* 韓国 Ⅱ Dr. Lee Kwang Soo (李 釜山) 外国語大学印度語科教授

Ⅱ 他1名 Ⅱ 7月4日

\* 中国 Ⅱ Ms. Huang Haoun (黄海存) 国際交流基金北京事務所 Ⅱ 7月28日

▼アジア経済研究所賛助会個人利用会員募集中です。

\* 年会費 二口 1万円

\* サービス内容月刊誌『アジア研ワールド・トレンド』送付、講演会・セミナーなどのご案内、各種料金の割引など。

\* 問合せ・申込先 Ⅱ 研究支援部 果普及課 (賛助会担当)

TEL: 043-299-9536  
FAX: 043-299-9726

▼次号の特集は「キューバ政治・経済の現状」です。

## 『アジア研ワールド・トレンド』 第11巻第9号 通巻120号

2005年9月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736

http://www.ide.go.jp

印刷

広研印刷株式会社